

# 進行する動作緩慢と歩行障害

68 歳女性 書籍 922 頁参照

**現病歴**：4 年前から動きの鈍さが出現した。ふるえはないがシャツのボタンがかけにくくなり、得意であった習字が下手になった。歩行開始時に最初の 1 歩が出にくく、猫背で、ちょこちょことした歩き方で転びやすくなった。便秘や頻尿、立ちくらみはなく、物忘れや幻視はない。

**既往歴**：特記すべきことなし。

**生活歴**：喫煙歴なし、飲酒歴は機会飲酒。

**家族歴**：特記すべきことなし。

**身体所見**：身長 160cm、体重 57kg、体温 36.2℃、脈拍 80 回/分、血圧 98/66 mmHg、呼吸数 18 回/分。意識は清明で高次機能障害はない。仮面様顔貌で Myerson 徴候は陽性である。脳神経に異常はない。話し声は小声である。上下肢の Barré 徴候は両側陰性で、指鼻試験・膝踵試験も両側で陰性。安静時振戦はなく、やや右優位だが両側性の歯車様筋強剛を認める。Romberg 徴候は陰性。Mann 肢位（両足を縦一直線に置く起立平衡試験の姿勢）の保持は開眼でもできない。片足立ちは左右とも数秒程度である。深部反射は正常で、病的反射はみられない。歩きはスタンスの狭い小刻み歩行で、すり足、すくみ足もある。突進現象はない。pull テストは陽性である。感覚障害はなく、Schellong テストは陰性。

## ■ 診断の進め方

特に見逃してはいけない疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

頻度の高い疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

■この時点で何を考えるか？ 医療面接と身体診察を総合して考える点

(可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる)

ここに記入

診断仮説 (仮の診断) (可能性が高いと考えられる疾患を挙げる)

ここに記入

■ 必要なスクリーニング検査 (診断を絞り込むために必要な検査を挙げる)

ここに記入

## ■ 検査結果

頭部 MRI : 特記すべき異常所見なし.

**診断仮説（仮の診断）**（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

ここに記入

**■ 診断確定のために**（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

ここに記入

**診断** (診断結果を記入)

ここに記入

**■治療の基本方針** (診断を受けて必要な治療を挙げる)

ここに記入